



事例抜粋版

Kawasaki City SDGs Guidance

～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～

Ver3.0

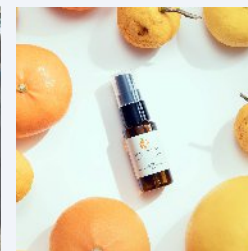
2025年3月 川崎市

check!!



こちらは『川崎市庁内SDGs取組の進め方』**version3.0**の**事例抜粋版**です。

本『進め方』の取組が高く評価され、日本最大級の政策コンテストである
『**第18回マニフェスト大賞（応募数3,088件）**』の
『**優秀賞（40件）**』及び
『**プレゼンテーション特別賞（1件）**』をダブル受賞！



※かわさきSDGs大賞2024受賞者の取組

「川崎市職員脱炭素・SDGs自主行動宣言」

- 本市は、令和5（2023）年度より、庁内で実施したアイデア提案から全職員投票結果を踏まえて決定した「川崎市職員脱炭素自主行動宣言」を行ってきました。
- さらにこれをバージョンアップし、**令和6（2024）年4月**から「**脱炭素・SDGs自主行動宣言**」として、脱炭素及びSDGsの双方の推進を全庁で進めています。

■ 宣言文 要旨（SDGs部分）

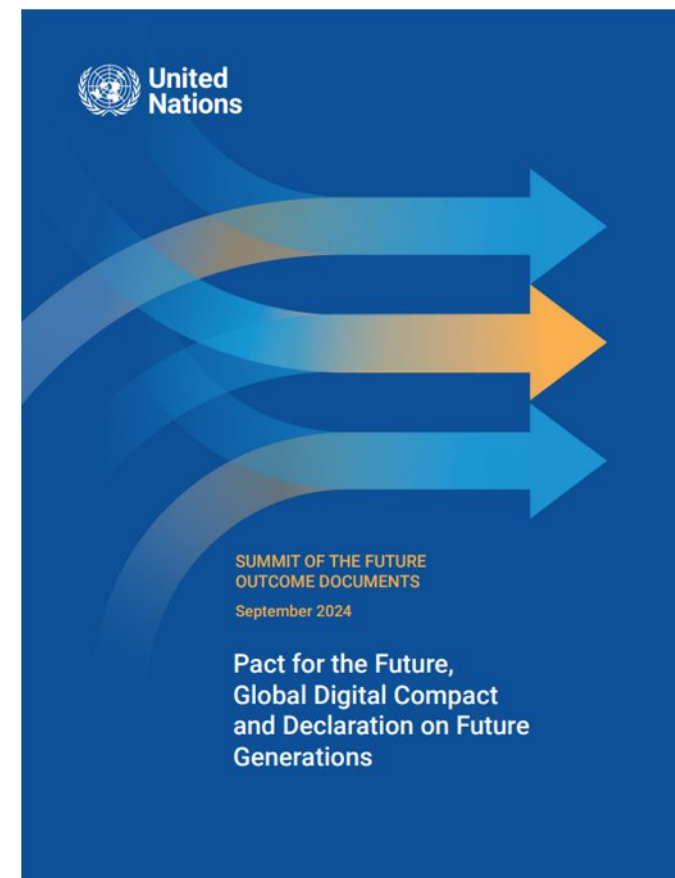
- ① 経済・環境・社会の**3側面**を意識した施策推進
- ② SDGsを踏まえた**情報発信・プロモーション**を意識した施策推進
- ③ SDGsを踏まえた庁内業務の**連携・改善**の促進
- ④ SDGsを踏まえた市民・事業者との**協働・連携**の促進
- ⑤ 人権配慮（性別、国籍、障害などへの配慮）や環境配慮など**基本的なSDGs配慮行動**の実践



Column

SDGsの次の議論って？

- 2016～2030年が目標期間であるSDGsですが、その前は**MDGs**（ミレニアム開発目標）という目標が掲げられていました。
- MDGsでは、貧困対策など8個の目標が掲げられ、多くの成果を出しましたが、同時に多くの課題も残り、それらを解決するためにSDGsが掲げられました。
- そして近年、2024年9月22日に開催された**国連未来サミット (Summit of the Future)** では、グローバル・デジタル・コンパクトと将来世代に関する宣言を含む「**未来のための協定 (Pact for the Future)**」が採択されました。
- この協定において、国連総会の支援の下、**ハイレベル政治フォーラムを2027年9月に開催し、そこで、2030年以降の持続可能な開発をどう進めていくかを優先事項として検討すること**が盛り込まれました。



SDGsを「シティプロモーション」に活用

本編抜粋

「シティプロモーション」としての活用イメージ

- 行政施策や事業者連携の事業等を情報発信するにあたりSDGsを意識して発信することで、当該取組とSDGsとの関連をより深く印象づけることができ、市内外のSDGs関心層への注目・関心を集めやすくなります。

教育だよりかわさき第131号（2024. 11）



川崎市指定管理施設(カルッツかわさき)「SDGsフェスティバルチラシ」等(2024. 3)※ファンズスポーツクラブ川崎提供



第17回川崎国際環境技術展 川崎市市制100周年「若者」特別企画チラシ一部(2024. 11)



SDGsを「インナープロモーション」に活用①

本編抜粋

(1) 「インナープロモーション」とは

- 「**インナープロモーション**」とは、組織のブランド価値や理念について職員への理解醸成を図ることで、**職員の意思統一**や**意欲向上**を図るための**庁内向けのプロモーション活動**のことです。組織の方針と職員の思いが同じ方向に向くことで、**仕事の質と効率の向上につながります**。

(2) 「SDGs×インナープロモーション」

- **本『進め方』はインナープロモーションの一環**であり、SDGsを通じた職員の**意思統一**や**仕事の魅力**を感じていただき、**やる気UP**につなげていくことを目指しています。
- 令和5（2023）年11月には、環境局と総務企画局の**庁内会議を合同開催**し、**脱炭素とSDGsの双方の意識付けを高める取組**を進めるなど、会議連携によるインナープロモーションの取組も行いました。

令和5（2023）年11月開催 令和5年度第2回川崎市環境行政・温暖化対策推進総合調整会議 令和5年度第3回川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進本部 合同会議
第2部 専門家（高木超慶應義塾大学特任助教）によるビデオ講演「SDGsの捉え方・認識をより深めよう！」の様子



SDGsを「インナープロモーション」に活用②

本編抜粋

(3) 「インナープロモーション」事例①（若手職員SDGs研修）

- ・研修テーマ：『SDGsで仕事を横断！』（R6.7.5）
- ・申込者：118人（会場63人、オンライン55人）
- ・他都市視察：5自治体（11人）

(特徴)

- ・総企、経済、環境、教育の4局連携によるSDGs事例紹介
- ・複数自治体（5自治体）が本研修を視察

⇒ その後、足立区、板橋区、弘前市において川崎モデル※と銘打たれた同研修が3回開催。（※『SDGsで仕事を横断』のテーマ設定が全国でも珍しいため）



SDGs研修ポスターの概要。タイトルは「若手職員SDGs研修」。対象者は「採用3年以内職員研修対象者（46歳以下）」「35歳以下の若手職員（若手職員研修対象者）」「その他35歳以下の職員（全庁）」とある。日程は「2024.7.5（金）14:00～17:10」。会場は「本庁舎201-202会議室」。定員は「対面 25人 オンライン 無制限」。プログラムは「14:00～開会」「14:05～SDGsの捉え方と最新事例（講師：総務企画課、経済政策課、環境課、教育委員会事務局）」「14:55～高木超氏による特別講演（行政視察におけるSDGsの活用）」「15:30～ワークショップ（※対象者限定のみ）（テーマ：身近な仕事を横断！）」とある。講師として「SDGsと自治体教職のプロ 高木超氏」が紹介されている。高木氏は「東京大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授」とあり、その経歴や専門分野が詳しく紹介されている。ポスターの下部には「申込」「問合せ」の連絡先が記載されている。

(実施結果)

- ・参加者の97%が「自身の思考の変化に繋がった(やや繋がった)」と回答。
- ・教育政策室の講義が特に受講者に刺さり、受講者から、「近い将来、SDGsを当たり前で学んできた子達が社会にでてくる。今の大人がSDGsをちゃんと理解しないと恥ずかしい。」などの声が多く挙がった。



(参考) 川崎モデル研修の他都市での開催

本編抜粋

Column

参考事例（足立区、板橋区、弘前市による「川崎モデルSDGs研修」2024）

- 前ページでも触れましたが、川崎市が令和6（2024）年7月に行った川崎市若手職員SDGs研修では多くの他都市職員の視察がありました。
- その後「足立区」「板橋区」「弘前市」において、川崎市モデルのSDGs研修が行われました。

こんな研修

（川崎市の研修スライド）※実施自治体によってスライドは異なります

1

今の仕事と関連性が低い部署はどこ？

自分の仕事の中で
関連性の低い局区はどこ？

- ・ 今から **3分間**

2

今の仕事と関連性が低い部署はどこ？

仕事内容を調べよう

- ・ 今から **1.0分間**

3

仕事を繋げてみよう！

「グループの仕事」や
「調べた仕事」を**繋げよう！**

- ・ 今から **2.0分間**
- ・ 予算や難易度は気にしない

4

SDGs観点での評価をしてみよう！

そのアイディアは
SDGsの何番のゴール？

- ・ 今から **7分間**

川崎モデル研修を自分の自治体で
実際にやった感想

ペーペー



板橋区Bさん

前半では「自分ごと」の意識・気づきを、後半では実務的な業務立案を学べ、SDGsローカライズを推進している係としても、受講生にとっても、大変実のある研修となりました！

普段では機会がない職員同士が繋がるきっかけになったのが最大の成果です！
「庁内連携が大切」と分かりつつ…なかなか他部署の業務に目を向ける機会が無いなかで、貴重な一歩になりました！

わーい



足立区Aさん

他の課／事業との連携を考える、という貴重な機会でした！
関連性の低い部局を探すのが大変でした！ひとつの業務でも、いろんな部局と関わり合っているのだと改めて感じました！

いっ はっ



弘前市Cさん

SDGsを「インナープロモーション」に活用③

本編抜粋

(4) 「インナープロモーション」事例②（プチ研修『SDGsクエスト』）

（一般公開中）

<https://logoform.jp/form/FUQz/726454>



SDGsクエストとは？

- ・LoGOフォーム機能を活用したアンケートついでにプチ研修『SDGsクエスト』を実施（全国的に珍しい取組）
 - ⇒ 令和6（2024）年10月に実施した職員アンケートの最後の質問で「SDGsクエストをやる」を選択
 - ⇒ シミュレーションゲーム風の画面に遷移し研修スタート！（受講者約2,700人）※SDGs未来都市（206都市）にも案内し55者がプレイ



受講者の声（約400意見）

- ・新鮮
- ・新感覚
- ・目から鱗
- ・記憶に残る
- ・今までにない
- ・ナイストライ！
- ・ゲーム感覚でよい
- ・ナイスアイデア！
- ・川崎市も変わったね！
- ・遊び心・ユーモアがある
- ・eラーニングより断然良い
- ・ウチの研修にも応用できそう
- ・こんな試行をどんどんやるべき など

受講者の94%が
「とても良い(まあまあ良い)」と回答

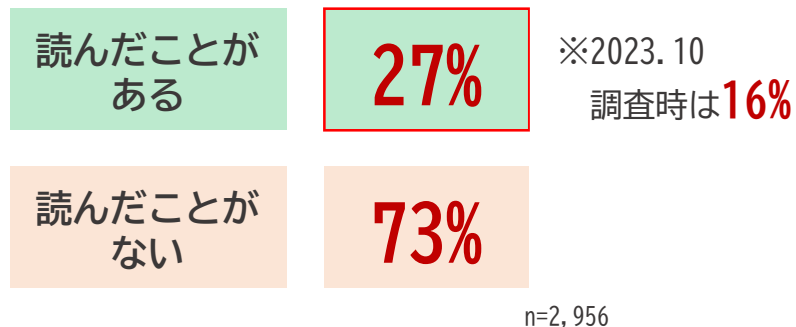
川崎市職員SDGs意識調査結果

本編抜粋

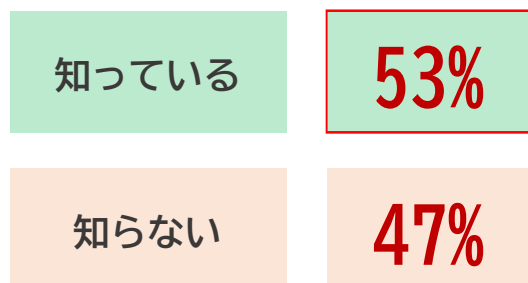
市職員SDGs意識（2024.10アンケート調査結果）

- 実施対象 川崎市職員
- 実施期間 令和6（2024）年9月25日～10月31日
- 回答者数 2,956人

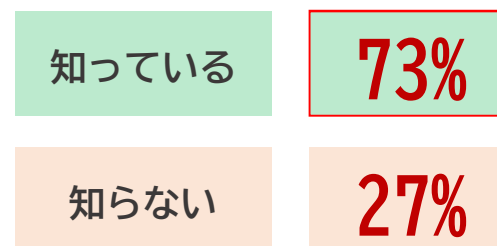
Q. 本『進め方』を読んだことがあるか？



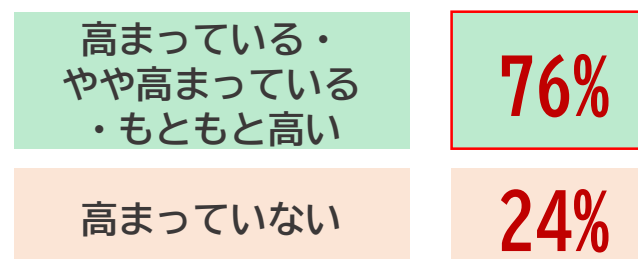
Q. 総合計画において、すべての事務事業をSDGsと関連付けていることを知っているか？



Q. R6.4に開始した『川崎市職員脱炭素・SDGs自主行動宣言』を知っているか？



Q. 自身の数年前と比べて、自身のSDGs意識が高まっているか？



(参考) 全国市区・SDGs先進度調査（ランキング）

本編抜粋

Column

全国市区・SDGs先進度調査（ランキング）で川崎市が全815市区中6位にランクイン

- 日本経済新聞社が編集・発行する地方創生・地域経営の専門誌「日経グローバル」は、全国815市区を対象に「全国市区・SDGs先進度調査」を実施（隔年ペース）。
- 令和6（2024）年秋の第4回調査では、**川崎市は全815市区中で第6位にランクイン。**
SDGs取組を先進的に進めている都市として高く評価。

総合順位（前回）	自治体名	得点
1位（前回2位）	豊田市	80.45点
2位（前回4位）	京都市	79.17点
3位（前回5位）	北九州市	77.80点
4位（前回1位）	さいたま市	77.57点
5位（前回5位）	相模原市	77.30点
6位（前回23位）	川崎市	77.08点
7位（前回13位）	宇都宮市	76.52点
8位（前回7位）	大阪市	75.65点
9位（前回3位）	福岡市	74.80点
10位（前回14位）	札幌市	74.47点

（評価方法）
国の公表データ59指標と、
独自調査（アンケート）44問
に基づく評価



SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例①

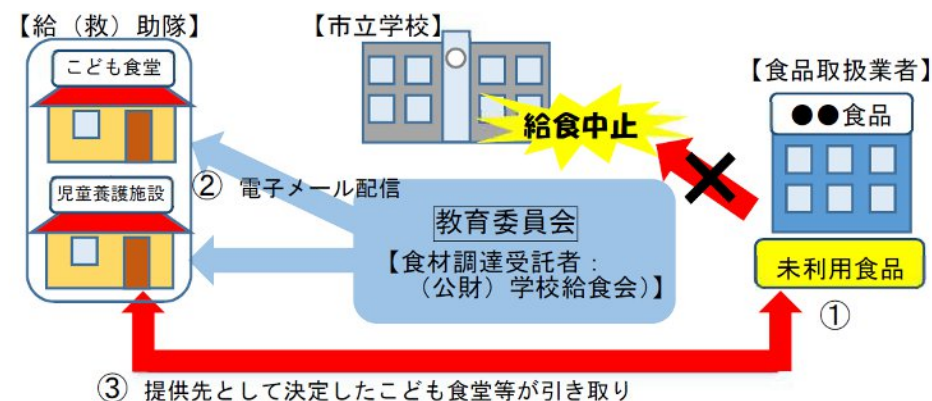
本編抜粋

(1) 事例①（複数SDGsゴールに繋がる事例）

- 市立学校の臨時休業等に伴い、**学校給食を急遽中止**したことによって、給食食材として利用できなくなってしまう食品（**未利用食品**）が発生することがあります。
- こうした、行き場を失ってしまった食品を、「レスキュー」して、こども食堂等（「給（救）助隊」）の食材に活用してもらう「**給食食材レスキュー “レス給（キュー）”**」をSDGsの取組の一つとして実施しています。
- この取組では、市内において地域の子育て支援等を目的として**子どもに食事を提供する活動団体に提供**しています。
- **令和6（2024）年度取組実績**（※2025年1月9日時点）

- ・ 提供件数 : 3件（3日間分）
- ・ 提供した未利用食品量 : 食材154.6kg、生クリーム1L
- ・ 主な未利用食品発生原因
断水や停電による臨時休業（休校）に伴う給食停止 など

未利用食品提供までの主な流れ



SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例②

本編抜粋

(2) 事例② (経済労働局×環境局×総務企画局の連携)



○ 令和6(2024)年度の川崎市国際環境技術展において、SDGsと連携した様々な企画を実施。

若者×SDGs 未来へつながるSDGs ～ 私たちにできること ～ (市制100周年「若者」特別企画)

経済

① SDGsカードゲーム

学生と企業の参加による、
持続可能な世界の実現に向け、
考え・体感するゲームを実施

【参加者】

(学生) 専修大、中央大、
横浜市立大などの学生15名
(企業) 技術展出展企業など10社



② 学生ピッチ

「身近なSDGsの取組」をテーマに
橘高校・専修大・中央大の学生が
コンテスト形式で発表

<市長賞> 専修大

「東京メータ株式会社でのインターン活動にて実施した小学生
向け模型プログラミング教材を用いた出張授業の取組について」

<オーディエンス賞> 中央大

「中央大学SDGsアクションプランアワードの参加学生による学生・
地域・行政が連携して運営する「運動×食」の場の提案について」



脱炭素×SDGs 中小企業の安定的な人材確保のために 「SDGs・脱炭素」で 他社と差をつけよう！

環境

(概要)

- ・ 中小企業の**人材確保戦略**としての
「SDGs・脱炭素」の重要性を
考えるセミナー
- ・ 脱炭素経営に取り組む中小企業を
後押しするための**支援メニュー紹介**



マッチング×SDGs

経済

出展者と来場者 (SDGsパートナー) とのマッチング

(マッチング例)

出展者(中央大学)

村内の廃材等の地域資源を活用した
製品開発・販売 ↓ ↓

来場者(株式会社SKLO) (SDGs大賞2024優秀賞)

革の端材等のアップサイクルや
地域でのワークショップを実施



(3) 事例③（総務企画局×全庁の連携）

- **総務企画局**では、3,000者を超えるかわさきSDGsパートナーに対し、定期的に情報発信を行っており、**令和5（2023）年度から**庁内のSDGs関連事業と連携し、**各局区が進めるSDGs関連事業に関する情報発信**を進めています。（R6.4～R7.2配信件数：82件（12局区））

令和6年度の実績・効果（例）

事例	時期	配信した事業	事業所管	本配信効果	事業全体実績
1	2024年4月	脱炭素アクションみぞのくち新事業推進補助金	環境局	1者	1者
2	2024年5月	緑化フェア・クラウドファンディング(花苗育成セット)	建設緑政局	1者	4者
3	2024年5月	「海の豊かさを守ろうfromかわさき」分科会イベント	総務企画局	26人	30人
4	2024年7月	市制100周年記念事業「クリーンアクションかわさき」への物品協賛のお願い	環境局	3者	4者
5	2024年7月	かわさきSDGsパートナー制度に関するアンケート	総務企画局	201者	201者
6	2024年10月	かわさき電子図書館の協賛者を募集	教育委員会事務局	3者(※問合せ件数)	※複数者と調整中
7	2024年10月	平間SDGsフェスの出前授業・ブース出展・掲示物参加の協力のお願い	平間小学校	22者	23者
8	2024年10月	川崎市総合計画の改定に向けた、川崎のこれからを描く「ミライ会議」参加者募集	総務企画局	9人	120人(※募集定員)

市内SDGsの「先進事例や身近な事例」①

本編抜粋

(1) 事例①（教育委員会事務局＋全市立学校）

○ 概要

- ・ **学校e～ね★サミット**では、「キャリア在り方生き方教育」の「わたしたちのまち川崎」の視点で教育活動を充実させ、様々な取組を実施。取組を学校間で交流し、地域へ発信しました。
(知って、関わって、好きになってもらう)

全市立学校で
取り組む

学校間で
交流する

地域へ
発信する

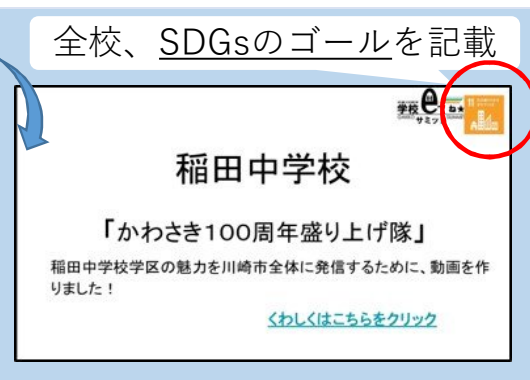
次の活動に
つなぐ

○ SDGsを意識した取組報告

- ・ **全市立学校（179校）**の取組報告である各スライドには、**全てSDGsのゴールを明記**しました。
- ・ **GIGA端末の「交流サイト」**に、全市立学校の取組（スライド）をまとめて**掲載**しました。
- ・ 題材テーマは多岐に渡り、**様々なSDGsゴール達成に寄与する取組内容**となっています。



GIGA端末「学校e～ね★サミット 交流サイト」



各学校の取組スライド



学校間交流（他校の取組を知る）



全市交流会の様子

市内SDGsの「先進事例や身近な事例」②

本編抜粋

(2) 事例② (平間小学校+地域)



- 平間小学校では、令和元（2019）年からSDGsアクションを推進しており、はじめのうちは、「SDGsを知る」の段階から、⇒「SDGsで学ぶ」⇒「SDGsを広める」と、取組が発展していきました。
- 学校中にSDGsのロゴマークが増え、全校に浸透し、今では日常の中にSDGsが当たり前になり、全学年で、「地域を巻き込むSDGsアクション」を合言葉に学校の外に飛び出して活動をしています。
- 学校と地域を巻き込んだ様々な取組が評価され、令和2（2020）年度にジャパンSDGsアワード特別賞を、令和5（2023）年度にかわさきSDGs大賞（最高賞）を、令和6（2024）年度にESD大賞文部科学大臣賞（最高賞）を受賞しました。



平間小SDGs研究会（ポスターセッション）



平間小SDGs研究会（事例発表）



企業による出前授業の様子



平間銀座商店街サマーフェスタに参加

市内SDGsの「先進事例や身近な事例」③

本編抜粋

(3) 事例③ (新城小学校+大学)



- **新城小学校**では、持続可能な新城のまちや社会の創り手を育てる教育を目指し、**SDGs教育全体構想**を掲げ、すべての教育活動で実践を積み重ねています。
- 普段の生活で子どもたちが取り組んでいる「マイSDGsチャレンジ」を募集し、「**取組が多いSDGsゴールと少ないゴール**」を視覚化・分析しました。
- 気候変動・環境・エネルギー問題などの取組が多いゴールに対し、**人権・平等・平和・福祉分野などの「取組が少ないゴール」に着目**し、明治大学との協働連携による取組として「**センサリーマップづくり※**」を進めました。
(※センサリーマップとは、感覚に過敏な人も生活しやすいように光や音などの感覚情報を表したマップのこと)
- こうした取組や着眼点が評価され、新城小学校は**かわさきSDGs大賞2023「優秀賞」**を受賞しました。



「**取組が少ないゴール**」に着目・分析し、センサリーマップという具体的な取組に繋がっているところが素晴らしいね



市内SDGsの「先進事例や身近な事例」④

本編抜粋



(4) 事例④（まちづくり局+民間企業）

- **まちづくり局**では、(株)ディー・エヌ・エー及び京浜急行電鉄(株)が進める「**川崎新！アリーナシティ・プロジェクト**（令和12（2030年）以降に開業予定）」を契機と捉え、事業の初期段階から、多様な関係者を巻き込みながら官民連携で効果的なまちづくりに推進しています。
- まちづくりの誘導の視点として、社会変容や多様なニーズを踏まえたまちづくりを進めることとし、ハード整備中心の「つくる」まちづくりだけでなく、エリアが抱える**多様な課題解決**や、**持続的なにぎわい創出**に向け、**SDGsの理念に沿った**基本的・総合的取組を推進しています。
- また、アリーナに関しても、サステナブルな社会の実現に向けて、さまざまなテクノロジーを駆使しながら、ハード・ソフトの両面で「**SDGsの世界最先端拠点**」が目指されています。

©DeNA / Keikyu Corporation



※川崎市と(株)DeNA川崎ブレイブサンダースは、令和2年にSDGs推進に関する協定を締結

市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑤

本編抜粋

(5) 事例⑤ (建設緑政局+全庁)



- **建設緑政局**では、**全国都市緑化かわさきフェア**を令和6（2024）年10～11月と、令和7（2025）年3～4月に2回開催します。
- 本市が一丸となって進めるかわさきフェアは、**単にゴール15番（陸の豊かさを守ろう）の達成に資する取組としてだけでなく、かわさきフェアを通じて、多くの市民・企業・全庁を巻き込み、連携・広がりを見せながら、新たな変化やレガシーを生み出ししており、本『進め方』が示す「SDGsの本質」に沿った取組が、数多く全庁で行われています。**

市立南原小学校『協働の花づくり・花かざり』※全市立小中・特別支援学校で実施



市立川崎高校『壁面緑化協働プロジェクト』※富士見公園会場の壁面緑化を高校生がデザイン



市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑥

本編抜粋

(6) 事例⑥ (環境局+全庁)



- **環境局**では、令和6（2024）年11月に「**かわさきイベントエコ化ガイドライン**」を策定しました。
- 本ガイドラインは、**市内イベント**において**SDGs意識**を持ち、**積極的にごみの発生抑制・リサイクルに取り組むことをPR**することで、イベント自体の魅力向上を狙うものです。
- 本ガイドラインにはエコ化に向けた**ポイント**や**事例**などを示しており、**緑化フェア**の例では「**出店募集時にプラごみ排出量低減策の回答を必須とし選考時の判断基準の1つとする**」などの事例を掲載しています。

全国都市緑化かわさきフェアの掲載事例（建設緑政局）

●緑化フェア

排出抑制の取組（出店者）

出店募集時に、プラごみ排出量低減策の記載を必須とし、選考時の判断基準の1つとしている。



第1回みんなの川崎祭の掲載事例（環境局）



市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑦

本編抜粋



(7) 事例⑦ (経済労働局 + 環境局 + 総務企画局)

- **経済労働局**では、市内中小企業等によるSDGs取組を促すため、**総務企画局と連携**し「SDGs取組支援融資」を令和3(2021)年度に創設しました。
かわさきSDGsゴールドパートナーに対し、適用する融資制度の**信用保証料の1/2を補助**。
(R3～R5累計融資実績：約**262**件(約**46**億円))

■ 新事業概要 (R7～)

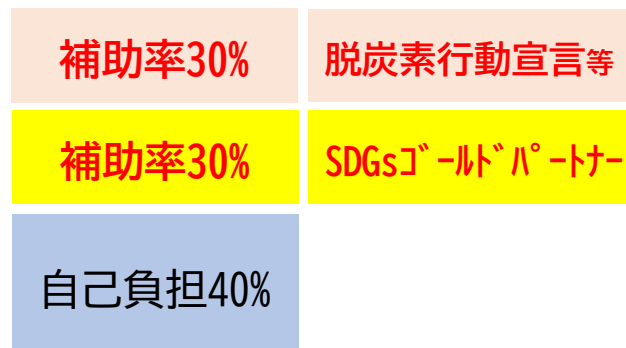
- ・ SDGsと脱炭素の双方の取組の推進による**相乗効果**を狙い、
環境局の脱炭素化施策とも連携し、**令和7(2025)年度**から「**SDGs・脱炭素化取組支援融資**」を創設します。

インセンティブとして信用保証料の一定割合を補助

R3～R6 (SDGs取組支援融資)



R7～ (SDGs・脱炭素化取組支援融資) ※イメージ



or

<補助率**100%**型>
「川崎CNブランド」や
「川崎市脱炭素経営
アクション推進事業者」
認定制度等を活用
(自己負担0%)

市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑧

本編抜粋

(8) 事例⑧ (こども未来局+保育園)



- こども未来局では、SDGsを意識した保育実践や、保育の中でSDGsの継続的に行うことを目的に、保育士、看護師、栄養士で構成する「川崎市公立保育園 保育内容研究部会 専門職内容部会」において、令和5（2023）年11月に「保育所における3つの専門職で考えるSDGs」について研究発表を行いました。
- 研究部員の所属する公立保育園11園の職員（回答:217名）を対象とした基礎調査を行うとともに、調査結果について分析・考察し、「子どものつばやき」に注目し、実践を行いました。

○三者連携の取り組み実践と省察

看護師・保育士グループ 水に関するつばやき



【古川保育園 4歳児】

「水がなくなると世界中の人が困っちゃうんだよ」
「泥だらけになって泥水で手を洗わなくちゃいけないんだよ」

【中原保育園 2歳児】

手を洗う時に水を出しすぎたことに気が付き、自分で調整していた。



【中有馬保育園 3歳児】

(手洗い後のペーパータオルについて)
「〇〇ちゃん使いすぎ～。1枚だけ取るんだよ～」

つばやきからの実践とその後

水やペーパーを大量に使う例と
少ししか使わない例を保育士が見せ、
グループに分かれて話し合いました



古川保育園

いっぱい水を出すと
もったいないよね



「ちょうどよい」
がいいね



市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑨

本編抜粋

(9) 事例⑨ (健康福祉局+市内外)

- **健康福祉局**では、無理なく継続して取り組みやすいウォーキングで市民の健康意識を高め、健康行動の習慣化を促進するとともに、運動成果を地域社会や子ども達にも還元することで、子ども達の希望を叶え、健康と優しさが循環する「健康循環社会」の構築を目指す「**かわさきTEKTEK**」(健康ポイント事業)を令和5(2023)年10月から開始しました。
- アプリ利用者が歩いて獲得したポイントは**市立小・中学校や特別支援学校を指定して寄附**し、本市が貯まったポイントを各学校に応援金に換算して交付します。学校では可能な限り、子どもたちが自ら応援金の用途を検討し、**子どもの健康や学校教育、地域還元等に結びつくような活用**を行っています。
- さらに、アプリの機能や事業の仕組みを活用し、市内や民間企業等と様々な連携をしており、**複数のSDGsゴールを意識した取組**が進められています。
- この取組が評価され、令和6(2024)年11月に、**第13回「健康寿命をのばそう!アワード」**(生活習慣病予防分野) **スポーツ庁長官優秀賞**(自治体部門)を受賞しました。

The poster for the 'かわさき TEKTEK' app features a green header with the city of Kawasaki logo and the app name. Below the title, it says '～歩いて貯めたポイントで子ども達を応援するスマートフォンアプリ～'. The central image shows a smartphone displaying the app's interface with a circular progress bar at 3,450 points and a list of nearby schools. To the right, a group of happy children is shown with speech bubbles: '雨の日には家でみんなで遊べるものを使いたい', '図書館を快適な空間にしたい', '校庭にミストシャワーをつけたい', and '貧乏小島の環境を良くしてあげたい'. Below the children, text states: '日常生活で歩くだけでポイントが貯まる! 貯まったポイントは市内の小学校へ寄附することができ、子ども達に還元されます!'. A red circle with 'ダウンロード 無料' (Download Free) is also present. At the bottom, there are three boxes: 'アプリをインストールし 初期登録' (Install app and initial registration) with QR codes for iPhone and Android; '歩いてポイントを貯める' (Walk and earn points) with a '歩く・運動' (Walk/Exercise) button and '小学校を選んで寄附する' (Choose school to donate to); and '寄附して得られる チケットで応援特典の抽選に申し込み' (Apply for lottery of support benefits with donated tickets), listing '川崎フロンターレ' (Kawasaki Frontale) and '川崎フロンターレファンクラブ' (Kawasaki Frontale Fan Club) as partners. The footer includes '詳しくは市ホームページへ' (For more details, go to the city homepage), a QR code, '事業主体 川崎市健康福祉局' (Organized by Kawasaki City Health and Welfare Bureau), and the page number '-22-'.

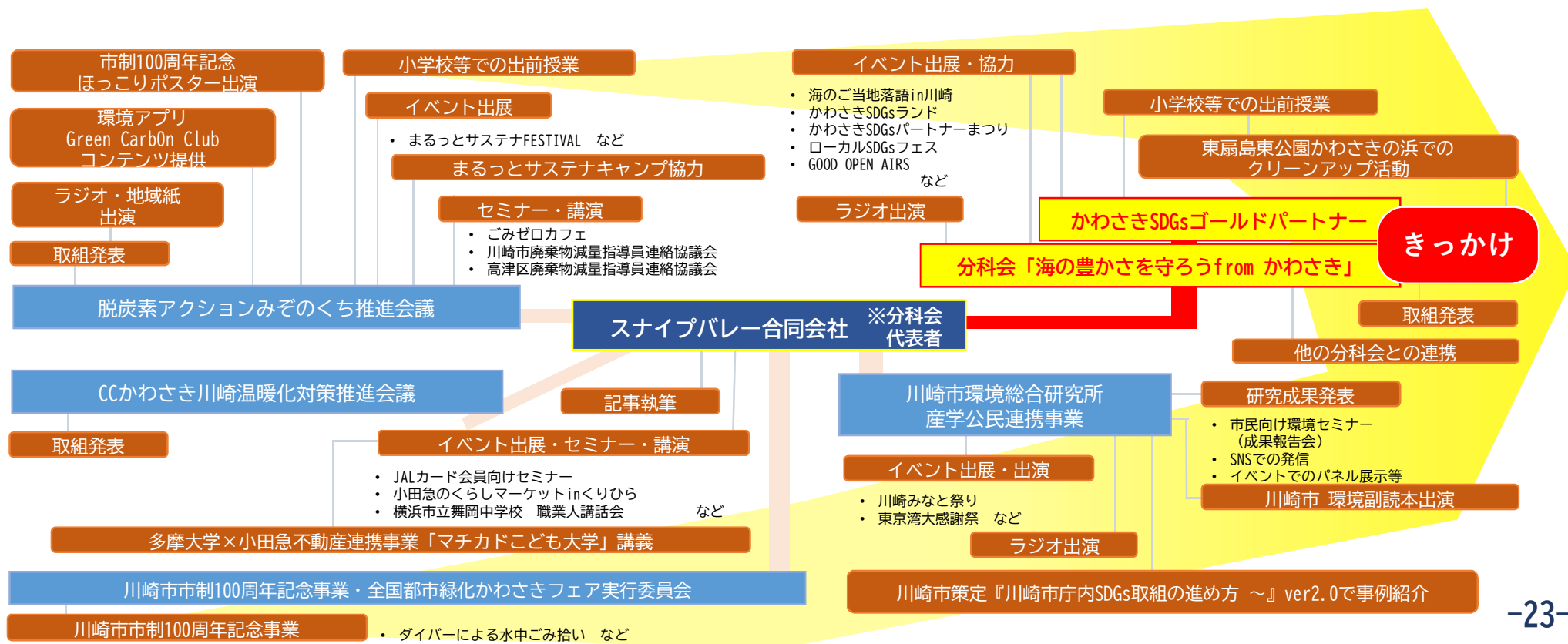
1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑩

本編抜粋



(10) 事例⑩（総務企画局 + SDGsパートナー）

- 令和4（2022）年3月に設立した、**川崎市SDGsプラットフォーム「海の豊かさを守ろうfromかわさき」分科会**では、川崎の海環境の改善に取り組んでいます。
- **SDGs分科会の設立をきっかけに、様々なパートナーや行政施策との連携に発展**しています。



市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑪

本編抜粋

(11) 事例⑪（中原区役所＋地元保育園）



- 中原区役所では、緑化フェアを契機として、武蔵小杉駅前のたばこやペットボトル、空き缶等のごみが散乱していたスペースに、近隣7箇所の保育園の園児が育てる花壇「にじいろのおにわ」を令和5（2023）年7月から設置しました。
- この取組により、**ごみの投棄防止**や**景観改善**、**緑化**に繋がるだけでなく、園庭のスペースを取りにくい駅周辺の保育園における、**土に触れる機会作り**や、**交流の場**にもなっており、**複数課題の解決（複数SDGsゴールの達成）**に資する取組となっています。



1 市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑫

本編抜粋

(12) 事例⑫（高津区役所＋複数部局）



- **高津区役所**では、市制100周年を契機として、**令和6（2024）年、段階的に溝口駅前の「キラリデッキ」**を、区の玄関口にふさわしい魅力ある場所となるようリニューアルしました。
- この取組は、単にデッキ整備を行うのではなく、**総務企画局**や**建設緑政局**、**まちづくり局**、**市民文化局**など**複数の局と連携し**、**緑化**や**脱炭素化（再エネ、暑熱対策）**、**木質化**、**喫煙場所移転集約**などにも取り組み、居心地が良く、環境にも配慮された空間を演出しています。



Before



After

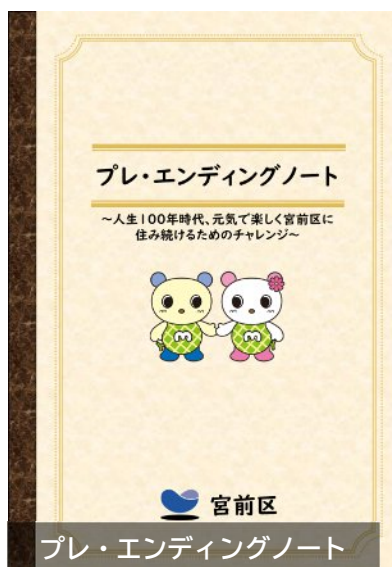


市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑬

本編抜粋

(13) 事例⑬（宮前区役所＋地域活動＋終活）

- **宮前区**では、令和32年(2050年)に老年人口（65歳以上）割合が7区で最も高くなることが予想されているため、**地域とつながり元気で楽しく宮前区に住み続けてもらうことをめざし**、令和6（2024）年9月の宮前区地域デザイン会議での議論を踏まえ、**令和7（2025）年1月に「早いうちから始める終活セミナー」を開催**しました。
- このセミナーの開催に合わせて、気軽により前向きな終活を始めるきっかけとして**宮前区オリジナルの『プレ・エンディングノート』**を地域デザイン会議に参加した区民に協力いただきながら作成しました。
- このプレ・エンディングノートは家系図や連絡先、契約している保険の情報などの基本項目に加えて、「これからやりたいこと」や「地域活動」に関する項目が充実しており、単に終活を学ぶだけでなく、終活をきっかけに**様々な地域活動にも興味・関心をもってもらい、持続可能なまちづくりに繋げていく取組**となっています。



① 家系図及び連絡先

記入日 年 月 日

父 電話番号 () () () () () ()	母 電話番号 () () () () () ()	父方おじ・おば 電話番号 () () () () () ()	母方おじ・おば 電話番号 () () () () () ()
私	配偶者 電話番号 () () () () () ()	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()
	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()
	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()	兄弟・姉妹 電話番号 () () () () () ()
第1子 電話番号 () () () () () ()	第1子配偶者 電話番号 () () () () () ()	第2子 電話番号 () () () () () ()	第2子配偶者 電話番号 () () () () () ()
第3子 電話番号 () () () () () ()	第3子配偶者 電話番号 () () () () () ()	第1子孫 電話番号 () () () () () ()	第2子孫 電話番号 () () () () () ()
第3子孫 電話番号 () () () () () ()	その他（祖父祖母、第4子以下、義父母、義兄弟姉妹など）		

家系図及び連絡先のページ

やりたいことリスト作成の手順

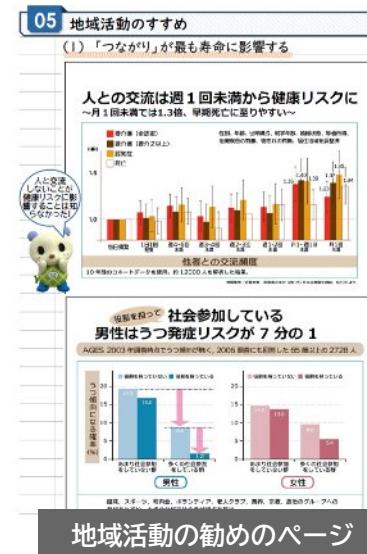
ステップ1 これからやってみたいことを書き出す
ポイント: 何となくやりたいと思っていたことなど、頭に浮かんだことを大小にかかわらず、30個程度書き出す

ステップ2 実施時期を踏まえ順番を並び替える
ポイント: 短期に達成できそうなものから、その中でも優先順位を付けて並び替える

ステップ3 実現したい年齢の目安を入力する
ポイント: あくまで目安なので、このくらいの年齢までに実施したいという希望的観測で入力する

ステップ4 定期的にリストを見直す
ポイント: 目標どおりできなかったり、新たにやりたいことが見

やりたいことリストの作成ページ



市内SDGsの「先進事例や身近な事例」⑭

本編抜粋

(14) 事例⑭（多摩区役所＋大学＋スポーツチーム＋こども）



- 多摩区役所では、区内に在学・在住の小学生が行った夏休みの自由研究（テーマ：SDGsの取組に関する研究）を募集し、令和6（2024）年10月に専修大学や川崎フロンターレとの連携による「多摩区SDGsこども研究発表会」を開催しました。
- 発表会当日は「川崎市のイベントに参加して興味を持ったこと」「夏休みの旅行先で気づいたこと」など、参加した小学生たちからSDGsを踏まえた発表が行われるとともに、専修大学や川崎フロンターレが進めるSDGsの取組に関する説明も行われました。





Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

2030 川崎から未来へ



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



2025年3月川崎市

